

## 神戸大学大学院海事科学研究科 附属練習船深江丸 教育関係共同利用のご案内

神戸大学大学院海事科学研究科長 内田 誠

神戸大学は、練習船深江丸（総トン数 449 トン、全長約 50m）を所有しており、海事科学部学生の実習航海に使用している他、教育、研究、研修等の様々なプログラムで外部からの利用も受け入れてきました。当研究科では、文部科学省の教育関係共同利用の枠組みに則って、より多くの大学において教育目的の利用を行って頂けるよう準備を進め、平成 26 年度から練習船深江丸の教育関係共同利用の受け入れを始めるとともに、平成 26 年 7 月 31 日付けで文部科学大臣から教育関係共同利用拠点として認定されました。

つきましては、練習船深江丸の教育利用（実習、実験、演習等）をご検討いただきたく、ご案内かたがたお願い申し上げます。

### 1. 教育関係共同利用制度について

「国公立大学における教育施設は、教育上支障がないときは、他の大学の利用に供することができる」と文部科学省が規定しています。

この制度は、大学の機能別分化の促進、大学間ネットワークの構築を進める上で大きな役割を果たすものであり、各大学が自らの強みを持つ分野へ取り組みを集中・強化するとともに、他大学との連携を進めることによって、大学教育全体としてより多様で高度な教育を展開していくために、この制度の活用が期待されています。

#### 共同利用の要件（練習船）

- ・ **他の大学等が授業等の一部として**練習船を利用し、実習、実験、演習を行う。
- ・ その授業等の科目は、**単位として認定されているもの**であること。
- ・ その科目の**シラバスの中に練習船を利用して実習、実験、演習等を行う事が明記**されていること。

### 2. 練習船深江丸の利用において想定しているテーマ

- ・ 船舶運航に関わる当直実習
- ・ 船舶性能試験と評価に関わる実験実習
- ・ 海洋環境、海中生物に関する航海実習
- ・ 心理学、人間科学関係の演習
- ・ コンピュータ制御機能を用いたリアルタイム制御実験
- ・ その他（様々な教育テーマのご提案をお願いします）

### 3. 費用

- ・ **船舶使用料は不要**. 費用は実費（食費およびリネン代等）をご負担いただきます.

食 費： 1,200円/日

リネン代： 1,190円/航海

- ・ 乗船には、**全員の傷害保険への加入（自己負担）が必要**です.
- ・ 乗下船地との間の往復交通費は自己負担でお願いします.  
(大阪湾、瀬戸内海地域の場合、最寄りの港での乗下船も検討いたします)

### 4. 利用方法・手続き等

- ・ 平成 26 年度から受け入れています。(5 年程度の継続が必要：予定でかまいません)
- ・ 日帰り航海 または 泊を伴う航海 (1 泊～数泊程度) の利用が可能です.
- ・ 利用人数等により、単独または便乗 (混乗) となります.
- ・ 申込みは原則として前年度のうちにに行って頂き、共同利用運営協議会で利用の可否を審議の上、結果をお知らせします. 利用にあたっては、乗船 14 日前までに乗船者名簿を提出して頂きます. (年度途中での申請は、別途ご相談ください)
- ・ **当該科目のシラバスに練習船深江丸を航海実習等で利用する旨の記載をお願いします.**

### 5. 平成 28 年度利用実績・利用予定大学

中京大学 心理学部 (すでに10年以上の実績あり)

帝塚山大学 心理科学研究科

大阪府立大学 工学域機械系学類 (すでに10年以上の実績あり)

甲南大学 フロンティアサイエンス学部

大阪大学 人間科学部・人間科学研究科

工学部・工学研究科

関西大学 商学部・商学研究科

政策創造学部

兵庫県立大学 工学研究科

大学コンソーシアムひょうご神戸

神戸大学 内海地域環境教育研究センター

以上

(運航予定、深江丸の概要等)

深江丸ホームページ：<http://www.edu.kobe-u.ac.jp/gmsc-fukaemaru/index.html>

(お問い合わせ先)

神戸大学大学院海事科学研究科 総務企画グループ (企画担当)

TEL：078-431-6211 e-mail：gmsc-kikaku@office.kobe-u.ac.jp